

# 中央区 帯状疱疹ワクチン予防接種のお知らせ

## ■ 帯状疱疹について ■

帯状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹（水疱）が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患です。水疱が見られる2～3日前から痒みや痛みを感じるようになり、1週間程度たつと水疱の多発や発熱、頭痛といった症状がみられることもあります。通常は2～4週間で皮膚症状がおさまります。

子どもの頃に水痘（みずぼうそう）にかかると、水痘・帯状疱疹ウイルスが体の中で長期間潜伏感染し、加齢や疲労によって免疫が低下した際などに「帯状疱疹」として発症します。また、皮膚症状が治った後も、長い間痛みが残る帯状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があります。

原因となる水痘・帯状疱疹ウイルスに対しては、成人の9割以上が抗体を持っていることから、既にほとんどの人が感染していると考えられ、誰もが帯状疱疹を発症するリスクがあります。

## ■ 予防接種について ■

### 1 対象者

予防接種の当日において、次の①から③までのすべての項目に該当している方

- ① 50歳以上の方
- ② 中央区に住民登録がある方
- ③ これまでに公費による帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成を受けたことがない方

### 2 助成内容

接種するワクチン	接種回数	助成額
乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」 (生ワクチン)	1回	4,000円／回
乾燥組換え帯状疱疹ワクチン「シングリックス」 (不活化ワクチン)	2回	10,000円／回

### 3 実施場所

中央区の指定医療機関

※医療機関によっては、予約が必要な場合があります。必ず事前に医療機関に電話でご確認ください。

### 4 当日持っていくもの

- ① 同封の予診票（あらかじめ署名欄にご署名ください。）
- ② 健康保険証

### 5 予防接種による健康被害の救済

医薬品の副作用による健康被害については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）が実施する医薬品副作用救済制度がありますので直接お問合せください。（フリーダイヤル0120-149-931）

【問合せ先】中央区保健所 健康推進課 中央区明石町12-1 電話 3541-5930

## ■ 予防接種を受ける前に ■

### 1 一般的な注意

予防接種は、健康な方が元気なときに接種を受け、その病原体の感染を予防するものなので、体調のよい日に受けるのが原則です。体調が悪いときには無理をせず、次の機会を待ちましょう。

体調や健康状態で何か気にかかることがあるときは、あらかじめかかりつけの医師や保健所にご相談ください。

### 2 予防接種を受けることができない方

次のような方は、予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいいます）がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ 現在、妊娠している場合（生ワクチンのみ）
- ⑥ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

#### 【女性の方への注意事項】

妊娠している方又はその可能性がある方は、予防接種不適当者として接種することができませんが、出産後又は妊娠していないことが確認されたあと、適当な時期に接種を受けてください。

なお、接種後2か月間は、妊娠を避けることが必要です。

### 3 予防接種を受けるに際し医師とよく相談しなくてはならない人

次の項目に当てはまると思われる方は、主治医と前もってよく相談したうえで接種してもらうか、診断書又は、意見書をもらってから接種に行きましょう。

- ① 心臓病、肝臓病、腎臓病や血液の病気や発育障害などで治療をうけている方
- ② これまでに予防接種を受けて2日以内に発熱、発しんなどアレルギーを思わせる異常がみられた方
- ③ 薬を使用して皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある方
- ④ 今までにけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥ ワクチンの成分にアレルギーがあると言われたことのある方

## ■ 予防接種を受けた後に ■

予防接種を受けた後30分間は接種会場で安静にし、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。急な副反応がこの間に起こることがあります。

接種後、2～3週間は、副反応の出現に注意しましょう。

入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないようにしましょう。

接種した当日はいつもどおりの生活をし、激しい運動は避けましょう。

※このお知らせを読んで、ご不明な点や不安があるときには、かかりつけの医師や、保健所にご相談ください。

※予防接種を受けたあと、注射部位のひどい腫れ、高熱、ひきつけなどの症状があったら、すぐに医師の診察を受け、保健所に連絡してください。